

まちのキラリびと



小さなお子さんからご年配の人まで楽しめる演奏会も開催しています

敦賀市民吹奏楽団 団長
伊藤 弘樹さん

吹奏楽で地元の音楽文化の発展を目指す

敦賀市民吹奏楽団は「学校を卒業してからも演奏できる場所」を求める声の高まりを受け、経験者や中学・高校の顧問の先生方と共に、平成4年5月に発足しました。現在、20代から60代まで幅広い世代のメンバーで活動しています。

吹奏楽の魅力は、音色の異なるさまざまな楽器で作上げる迫力ある音楽です。演奏者はそのために練習を重ねて、お客さんに感動いただいたとき、得がたい達成感を感じることが出来ます。

主な活動として、定期演奏会のほか、小さなお子さんと一緒に楽しめるファミリーコンサート、地域のイベントなどで演奏しておりますので、多くの方にぜひ演奏を聴いてもらえたらと思います。

また、これから裾野を広げる活動として、若い学生のレベルアップや後継者育成にも力を入れていく予定です。

新型コロナウイルスの影響で、練習や演奏会の自粛を余儀なくされたりと最近はどういう活動ができていませんが、来年初には設立30周年を記念した演奏会も予定していますので、皆さんのお越しをお待ちしています。

最後に、団員を随時募集しています。もう一度演奏を始めたい方、演奏の場を探していた方、私たちと一緒に演奏を楽しみましょう。



▲定期演奏会終了後に団員で

▶練習日
毎週(水)・(土)
18:00~22:00
▶主な活動内容
ファミリーコンサート
定期演奏会 など

HP ▶▶▶



FB ▶▶▶



まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



整備された美しい庭園を
ぜひご覧ください

案内人 住職 二橋 信玄さん

西福寺書院庭園

基本情報 種別：国指定名勝(昭和7年4月19日指定) 所在地：原



▲植栽整備の様子



守り継がれる極楽浄土を表現した 泉林庭園

西福寺書院庭園は、阿弥陀堂が改修された江戸時代中期の延享4年(1747)の作庭とされています。岩山の斜面を利用した庭園で、大原山から流れる谷水を上段・中段・下段の滝で園池に引き込むことで自然の流れを作り、その周囲はアカマツやカエデ類、ツツジ類によって彩られています。また、この庭園は、極楽浄土を表現しているといわれており、阿弥陀堂と御影堂をつなぐ四修廊下は、この浄土を模した池の上を歩くよう作られています。

今年西福寺の住職に就任された二橋信玄住職は、昭和44年に先々代の鶴飼隆玄氏に弟子入りし西福寺に入っていた当時を「小僧時代はよく庭園の池の泥さらいや草刈りをしていた」と振り返ります。
平成14年〜18年には修復工事も行われましたが、年々生育し変化していく樹木の剪定や池水の管理など、庭園を美しく保つためには、日常の維持管理が大切です。
二橋住職をはじめ、お寺に関わる人たちが日々の生活の中で庭園の美化清掃に取り組んできたことで、この庭園は美しい姿を今にとどめています。

広報担当者の つぶやき

マイブームが再燃している熱帯魚水槽。巻貝大量発生で水槽リセットに追い込まれたり、コケとの闘いがあつたりとうまくいかないことも多いですが、熱帯魚やエビをぼーっと眺めていると癒されます。生体だけでなく、水草や流木、石などのレイアウトでイメージがガラッと変わる水槽。まだまだ没頭しそうです。(k)

クールピスが終わりました…。編集後記を書いている現在は、10月に入り衣替えをしたところです。久しぶりのネクタイに慣れていないのが、首周りが太くなったのかわかりませんが、とにかく暑苦しいです。秋は寒暖差が大きい季節となるので、皆さんも体調管理にお気をつけください。(M)